

社内木鶏感想用紙

2025 年 1 月 28 日

1 月号

名前

タイトル: 何が人を大成に導くのか

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

グローバル競争にさらされている顧客企業様で大変厳しい状況が重なっている。その状況でどうすれば企業様のお役に立てるかを模索している。その中で3つの視点から大変ありがたい示唆をいただいた。①チーム作り ②経営者としての態度 ③中小企業のイノベーションについてです。

【チームづくり】

- チームとは何か?強いチームに必要な要素は何か?最近特によく考える。そのヒントが多くあった。
- ・共感共鳴がある。それを生み出すためにリーダーが夢やポリシーを繰り返し語る。そのために企業の存在意義をあきらかにすることが大切
 - ドトール 「一杯の美味しいコーヒーを通じて、お客様にやすらぎと活力を提供する」
 - ファンケル「正義感を持って世の中の『不』を解消しよう」
 - ・その都度思ったことを素直に語り続けていくうちに、ものの考え方が社員全体で一致してくる

【経営者としての態度】

- ・倒れても倒れないのが経営者だ。倒れて喜んでいるうちは経営者じゃない
- ・借りたお金を返せない場合の態度、A 自死・蒸発 B 債権者に素直に謝る
- ・『小善は、大悪に似たり。大善は非情に似たり』
- ・損得が先ではない。何が正しいかが優先だ
- ・本気にも段位がある。本気八段の努力をしないと物事は成就しない

【中小企業のイノベーション】

- ・アイデアは無限
- ・常識はクリエイティブの邪魔になる

木鶏会を通じて、自分自身の変化を感じている。経営者のサポート技術の向上を目指し、勉強を続けていきたい。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

社内木鶏感想用紙

130 回目

2025 年 1 月 28 日

1 月号

名前

タイトル: 特集 万事修養

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

万事修養とは全ての事に対して徳性を磨き、人格を高めること、という意味だそうです。

この記事では稲盛さんの「生き方ノート」の言葉を引用して意味を説明されています

「困難とは神様がもっと成長して欲しいという愛をもって与えたもの」であり「困難は愛の

変形」という事だそうです。「人生における不運・挫折が運命を豊かにする」「挫折は人生

の栄養になる」など、稲盛さんは同じような内容の言葉を沢山残されています。

この世の中の人で困難や苦難に遭遇した事がないという人は誰一人としていないでしょう

その困難・苦難をどのように受け止めることができるか、「神様からのアドバイス」として

受け止め、次の行動に結びつく様にプラスに受けとめる事で自分の人生を切り開いて

いくことができるのではないかと思います。ただ、言葉で言う事は簡単ですが、実際に

その様な大変な状況を前にして自分の感情や考え方をコントロールすることはとてつもなく

大変な事だと思います。それを実行するためには致知を読んで日々の生活の中で人間力

を高めていく事が必要なのだと思います。

正直、毎月致知を読んで感想文を書く事は大変ではありますが、誰のためでもなく

自分自身の為なのでしっかりと勉強していこうと思います。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

社内木鶏感想用紙

2025 年 1 月 28 日

1 月号

名前

タイトル:

万事修養

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

万事修養とは、あらゆることに対して修養に励み、努力、精進を重ねるということ。この特集では、人生を送る上で直面する困難や試練を乗り越えるために必要な心構えとして様々な言葉が紹介されておりますが、自分なりに考えてみると困難や試練を乗り越え、よりよい人生を送るために必要なことは、「受け入れる姿勢と心の持ち方」が重要だと思います。周りでどんなことが起きても、自身のまわりに起こる全ての出来事は自身に必要な経験だという考えを持ち、受け入れる姿勢を意識し吸収すること。そして、心の軸をしっかりさせぶれることがなければ、あらゆる困難を乗り越え、成長することができ道はひらけるのだと思います。生きていく上で、色々な経験をすることがありますが、「心の持ち方次第」で進べき人生の道は変わってくるということを改めて感じました。

今回の致知では、生きていく上で大切な心構えについて教えていただきましたが、これからの人生、何事も吸収するという受け入れる姿勢を意識し行動していきたいと思います。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと
